

調達管理番号・案件名

24a00288_ウガンダ国上下水道地域研修拠点能力強化プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2024年7月22日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	1	p.48 1. プロポーザルに記載されるべき事項 (1)コンサルタント等の法人としての経験、能力 1)類似業務の経験	類似業務は「水道分野における域内連携、水道事業体連携、第三国研修が含まれる人材育成」に関連する業務とのことですが、プロジェクトの支援内容を考慮すると、水道施設の運転維持管理・保守や研修機関運営の経験が非常に有用であると考えます。そのため類似業務にこれら業務の経験を加えることを検討いただけませんか。	類似業務の経験については、以下のような考え方に基づいて設定しております。 ①受援対象とする「研修プログラム」や「能力開発プログラム」の内容は、詳細計画策定フェーズにおいて調査の上決定するため、これらのプログラムの中身に関連した類似業務経験を指定することはしない。 ②実施機関であるNWSCは、既に国内外の外部顧客に対して独自で研修運営等を行っているなど、一定の能力を有しているため、NWSCに経験が少なくコンサルタントからのインプットが重要になる領域における経験を特に重視したい。 ③本業務を遂行可能な水道分野のコンサルタントが、一般的に豊富な経験を有する領域よりも、本業務に特徴的な点に関する経験を把握したい。 コンサルタントが本業務の遂行にあたって有益であると考え業務経験をご提案されることは可といたします。ただし、上記の考え方に基づいて、「水道分野における域内連携、水道事業体連携、第三国研修が含まれる人材育成」の経験は重視いたします。
2	9	P.9、第2章 特記仕様書(案) 【1】、1. 企画・提案を求める水準	2つの項目が記載され、上の項目にチェック(☑)が付いている。上と下の項目における提案水準の違いは何か。 本件では「目標、成果、主な活動に対して」が太字下線になっていることから、「実施方法及び作業工程の考案」よりも「目標、成果、主な活動についての提案」に重点を置くという意味か。	記載の違いは、プロジェクト目標、成果、活動の規定を踏まえての業務について、どのくらい詳細に弊機構から指示するかの違いです。 本件は、これから開始する技術協力プロジェクトで、プロジェクトの目標、成果、活動までが規定されていますが、活動の詳細までは規定されていない状態です。 プロポーザルでは、企画競争説明書案に記載のプロジェクトの目標、成果、活動(及びその補足説明)を踏まえて、効果的かつ効率的な実施方法及び作業工程をご提案ください。
3	9	第2章 特記仕様書(案)2.プロポーザルで特に具体的な提案を求める内容 P.12、第2章 特記仕様書(案)【2】、第3条、2.(1)、脚注1	P.9提案を求める事項1の「JICAが推進するクラスター戦略及びプラットフォーム活動の目的、過去に周辺国でJICAが実施してきた支援、及び各国水道事業が抱える課題やこれらを解決するための効果的なアプローチ方法」およびP.12の脚注には「JICAが推進するクラスター戦略及びプラットフォーム活動の目的、過去に周辺国でJICAが実施してきた支援、各国水道事業の課題やこれらを解決するためにどのようなアプローチが的確と考えるのか、プロポーザルにて整理し・提案すること。」 については、「JICAが推進するクラスター戦略及びプラットフォーム活動の目的、過去に周辺国でJICAが実施してきた支援を踏まえて、各国水道事業の課題やこれらを解決するためにどのようなアプローチが的確と考えるのか、プロポーザルにて整理し・提案すること。」という理解で良いか。	ご理解の通りです。
4	12	第2章【2】第3条、 2. 本業務に係る実施方針及び留意事項 (2)詳細計画策定フェーズを含む実施方式によるプロジェクトの実施	本件の活動には、NWSC内の研修と、外部向けの研修実施が含まれています。その詳細は、詳細計画策定調査で確認し、必要に応じて投入計画を調整することとありますが、現時点での投入の目安をお示しいただくことはできません。 「各コースの準備と実施で0.75MM、計8コースを想定」など、想定されている作業量を共有いただくことで、本格協力フェーズの詳細の業務量が確定した後に、契約MMを調整する必要性の有無が明確になると考えます。	現時点では詳細計画策定フェーズの人月は全体の4～5割程度を想定しています。

5	18	第2章 特記仕様書(案)、【2】、第3条、2(12)	下から2行目「特にESに係るKPIの情報・・・」 ESは、Engineering Serviceのことか、またはESU (External Service Unit) のことか。	ご指摘ありがとうございます。本回答をもって、ESU (External Service Unit) とします。
6	39	別紙2、 2. 選択項目、 他の専門家との協働	「同専門家との役割分担は、第4条「2. 本業務にかかる事項」を(中略)参照する。」と記載がありますが、役割分担についての説明が見当たりません。長期専門家の活動詳細は、詳細計画策定調査で確認されるとのこと。現在の契約範囲に含まれるプロジェクト活動のうち、詳細計画策定後に、長期専門家が担当することで契約範囲から業務が削除される可能性があるということでしょうか。あるいは、長期専門家の担当業務は、PDM上に新たに追加される想定ということでしょうか。	ご指摘ありがとうございます。本回答をもって、以下の通り訂正いたします。 【修正前】同専門家との役割分担は、「第4条「2. 本業務にかかる事項」を(中略)参照する。 【修正後】同専門家との役割分担は、「第3条 2. 本業務に係る実施方針及び留意事項(4)本プロジェクトの実施体制及び留意点」を参照する。 現在の契約範囲に含まれるプロジェクト活動については、全て受注先にて実施頂き、長期専門家が担当することで契約範囲から業務が削除されることは想定しておりません。
7	48	類似業務の経験	本案件、類似業務において、アフリカ域内連携・水道事業体連携等が重視され、前半のフォーラム開催に比重が大きく取られています。後半に施設維持管理や研修センター運用・運営の充実といった要素が組み込まれていることから、施設維持管理や研修センター運用・運営の業務経験も重要な要素と思われるかもしれませんが、いかがでしょうか。	質問番号1の回答を参照ください。
8	48	第3章、1.(1)、1) 類似業務経験	類似業務として「第三国研修が含まれる人材育成」とあるが、分野の記載がない。水道分野での第三国研修がより高く評価されるという理解で良いか。	ご理解の通りです。
9	48	第3章、1.(1)、1) 類似業務経験	類似業務:「水道分野における域内連携、水道事業体連携、第三国研修が含まれる人材育成」と設定されている。しかし、業務内容からは、「水道施設維持管理」及び「研修センター運営」のような類似業務を加えるべきであると思料する。理由としては下記の通り。 理由 1)類似業務として設定された「水道分野における域内連携」、「水道事業体連携」、「第三国研修が含まれる人材育成」は、主に第1年次に実施する内容であり、かつ2025年2月までの活動が主となる。 2)ニーズ調査を踏まえて技術的観点から適切な目標、成果、活動を見直すことが求められており(P.19)、そのためには「水道施設維持管理」の経験が必要である。 3)活動1-3、1-4、2-3、2-4は研修センターの運営に係る内容である。これを実施するためには「研修センター運営」という経験が必要である。 4)活動2-5～2-8は「水道施設維持管理」の経験が必要である。 上記2)、3)、4)は1年次後半から3年次に実施する内容である。想定されている投入量は1年次が17人月で2・3年次が16.5人月である。そのため上記2)～4)の業務は投入量の面からも重要性があると認識する。	質問番号1の回答を参照ください。
10	49	2(4) 配布資料／公開資料等	2019年ルワンダで開催された第1回幹部フォーラムに関する報告書を共有頂きたい。	第1回幹部フォーラムでは報告書を作成しておりません。JICAのホームページに関連記事が掲載されております。 https://www.jica.go.jp/Resource/information/seminar/2019/20191114_01.html

11	49	2(4)配布資料／公開資料	<p>「アフリカ地域『成長する水道事業体』支援におけるプラットフォーム活動情報収集・確認調査」の企画競争説明書(特記仕様書案)によると、成果品として「業務完了報告書」が作成されることになっている。「業務完了報告書」もしくはそのドラフトが作成されていたら、共有頂きたい。</p> <p>もし、共有いただけない場合、「幹部フォーラム実施報告書」、P75、「9.3 実施計画」に記載されているU2U Exchangeの議事録を共有頂きたい。</p>	<p>本調査の契約履行期間が終了していないため、現時点での報告書の共有は出来兼ねます。</p> <p>U2U Exchangeの議事録(4回分)については、配布可能です。企画競争説明書 p.49「第3章 プロポーザル作成に係る留意事項、2. 業務実施上の条件、(4)配付資料／公開資料等」に記載の連絡先宛てに請求してください。</p>
----	----	---------------	---	---

以上